

MSC(海洋管理協議会) ステークホルダー調査結果

関係者向けの要点
レポート

2022年5月

Globe
Scan 



目次

謝辞	3
はじめに	4
調査方法と参加者プロフィール	5
主要な業績評価指標	8
MSCにおける機会と役割	14
MSCの使命を達成する障壁	18
MSC認証規格に関する緊急を要する課題とフィードバック	21
MSCの関わり方	24
主要所見の概要	27
最新情報の入手	28

謝辞

MSCのステークホルダー調査にご参加いただき本当にありがとうございました。

多くの皆様から、この調査への見解と経験をご提供いただき、大変うれしく思っております。調査への参加者は1000名を超えており、これは皆様方がMSCの活動について価値を見出してくださり、MSCが継続的に進化していくことを望まれている証です。

世界の海が生命にあふれ、現在そして将来の世代にわたり水産物の供給が守られることというMSCのビジョンが、皆様とMSCを結びつけている共通の目的です。25年間以上に及ぶ皆様のご支援のおかげで、500を超える漁業がMSCのプログラムに関与し、認証取得に取り組んできました。現在、世界の天然魚介類漁獲量の19%はMSCプログラムに関与する漁業によるものですが、これは多くのパートナーの尽力なくしては不可能でした。パートナー全員が当協議会のプログラムに対して高い、時には相反する期待を持っています。

この短い報告書から、MSCの関係者が、MSCのプログラムには多くの長所があると考えていることがお分かりいただけます。しかし、また、MSCが継続して発展させるべき分野があることも明確になりました。例えば、MSCのプログラムの複雑さを緩和し、小規模漁業がアクセスしやすくとともに、持続可能な水産物の拡大に向けた主張を強化することが望まれています。

皆様の貢献は、2030年に向けたMSCの新計画の策定に大変役立ちます。本年後半にはその計画を皆様と共有し、過剰漁獲を終結させる目標を共に達成するための取り組みを継続していけることを楽しみにしております。

Rupert Howes

MSC最高責任者

はじめに

- MSCステークホルダー調査は、定期的にMSCに関与している世界の漁業、科学機関、水産業、NGO、その他のグループの見解を得ることを目的としています。この短い報告書は、以下を含む主要な調査結果について記載しています：
- **主要な業績評価指標**にはMSCに対する信頼と、MSCの使命とビジョンの達成に向けた有効性が含まれます。これらの結果は、強い分野と改善が必要な分野を、様々な地域の様々な関係者に伝えるのに役立ちます。
- **MSCによる機会と役割**：調査結果は、MSCが、現在の役割において関係者の期待を満たしているか、また、組織の将来に向けた方向性を理解するのに役立ちます。
- **MSCの役割達成に向けた障壁**：MSCの役割達成に向けた外的な障壁や、MSCが様々な関係者を有することを起因とする緊張関係についてもカバーしています。
- **MSC認証規格に関する緊急の課題とフィードバック**：MSCの関係者が認識している持続可能性に関して緊急を要する課題の内容や、MSCの漁業認証とCoC認証の規格についての関係者の見解を知ることができます。
- **MSCのエンゲージメント**：調査結果は、活動努力における欠落の有無やどこに改善が必要かをMSCが理解するのに役立ちます。
- 本調査は、独立調査機関であるGlobeScanによって2021年後半に実施されました。結果は、モニタリングと改善が必要な分野を認識し、組織の次の計画作りに役立ちます。



調査方法と参加者

調査方法

- 第三者の調査と支援コンサルタント機関であるGlobeScanは、MSCステークホルダー調査を独立して管理することをMSCから委託されました。本調査は共同で設計され、GlobeScanは、プログラミング、ホスティング、データ収集、分析を担当しました。
- ステークホルダー調査はオンラインで実施され、所要時間はおよそ15分間でした。データは、2021年の11月4日から12月10日にかけて収集されました。
- ステークホルダーとの調整は、MSCの各国・地域のチームが直接的なやりとりを支援し、本部のチームが全体的な調整を行いました。本調査への参加は完全に自由意志によるものであり、回答者がMSCについて知らないと自ら申告しない限り、誰も調査から除外されませんでした。数についての制限はありませんでした。

読者への注意

- この報告書の図と表の数字は、別段の記述がない限り、パーセントで表しています。
- 合計パーセントは、四捨五入のために、100にならない場合があります。
- この報告書に示されているデータは、MSCのステークホルダーについてよりバランスの取れた構成を反映させるため、また一部の地域の過剰および過小評価を最小限にするために、地域レベルで加重されました。サンプルは、北米、北欧、南欧、アジアでは $n=150$ 、ラテンアメリカ、中東及びアフリカ(MEA)、ロシア、オセアニアは $n=75$ を示すように加重されています。

調査言語:

- 英語
- インドネシア語
- 簡体字中国語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- ポーランド語
- ロシア語
- スペイン語

参加者のプロフィール

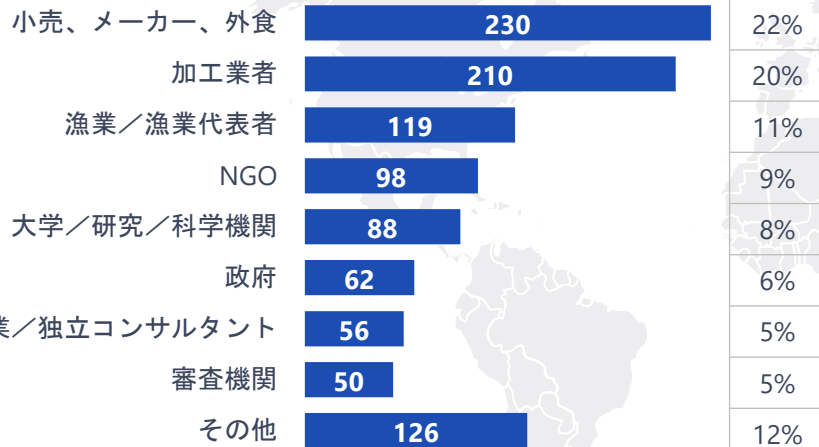
ステークホルダーの所属別と地域別の回答者数

合計回答数、 $n=1039$



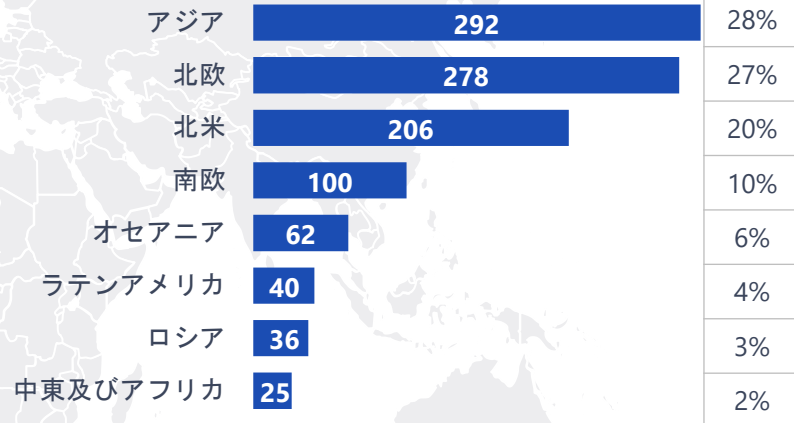
ステークホルダーの所属

サンプルの%



地域

サンプルの%



その他は以下を含む：動物園と水族館、海洋問題に関心を持つ個人、貿易業（輸入／輸出）、ブローカー、卸売業、など



主要な業績評価指標

MSCのシステムとガバナンスは多大な信頼を備えています。我々はプログラムの影響力を裏付ける根拠を見てきました。すべての最善の努力にもかかわらず、取り組みが難しいと思われる課題がいくつかあります。例として、政府間での合意がなされない。プログラムに進む漁業の数や規模に左右されるなど。

- 審査機関、オセアニア

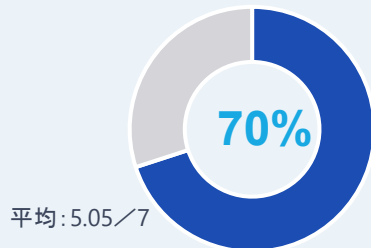
MSCは海洋に多大な貢献をしていますし、プログラムを非常に信頼しています。しかしながら、現在の水産物の多くは、認証取得に向けた財政的手段が難しい国からのものです。

- 加工業者、北米

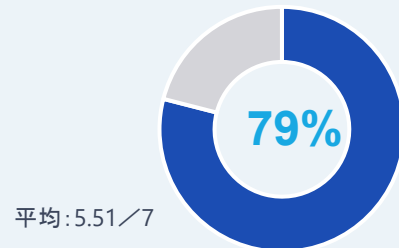
主要な業績評価指標(KPI)の概要*

全体的に、MSCは、主要な業績評価指標について高評価を得ています。ステークホルダーによるMSCの評価について包括的な見解が得られるような指標を選択しています。

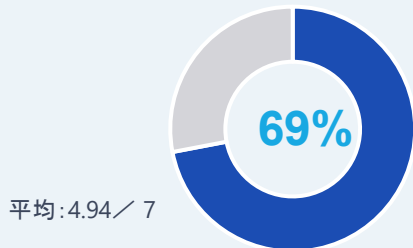
過剰漁獲の根絶へのMSCの貢献
についての信頼度



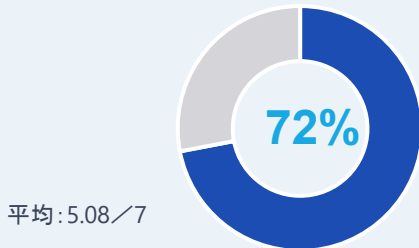
MSCについて好意的
に話す可能性



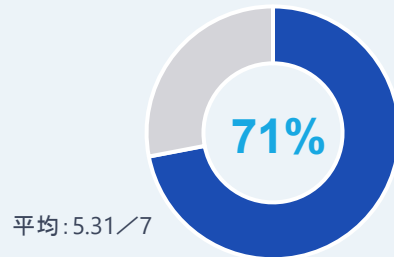
MSCのビジョン
達成に向けた効果



MSCのミッション
達成に向けた効果



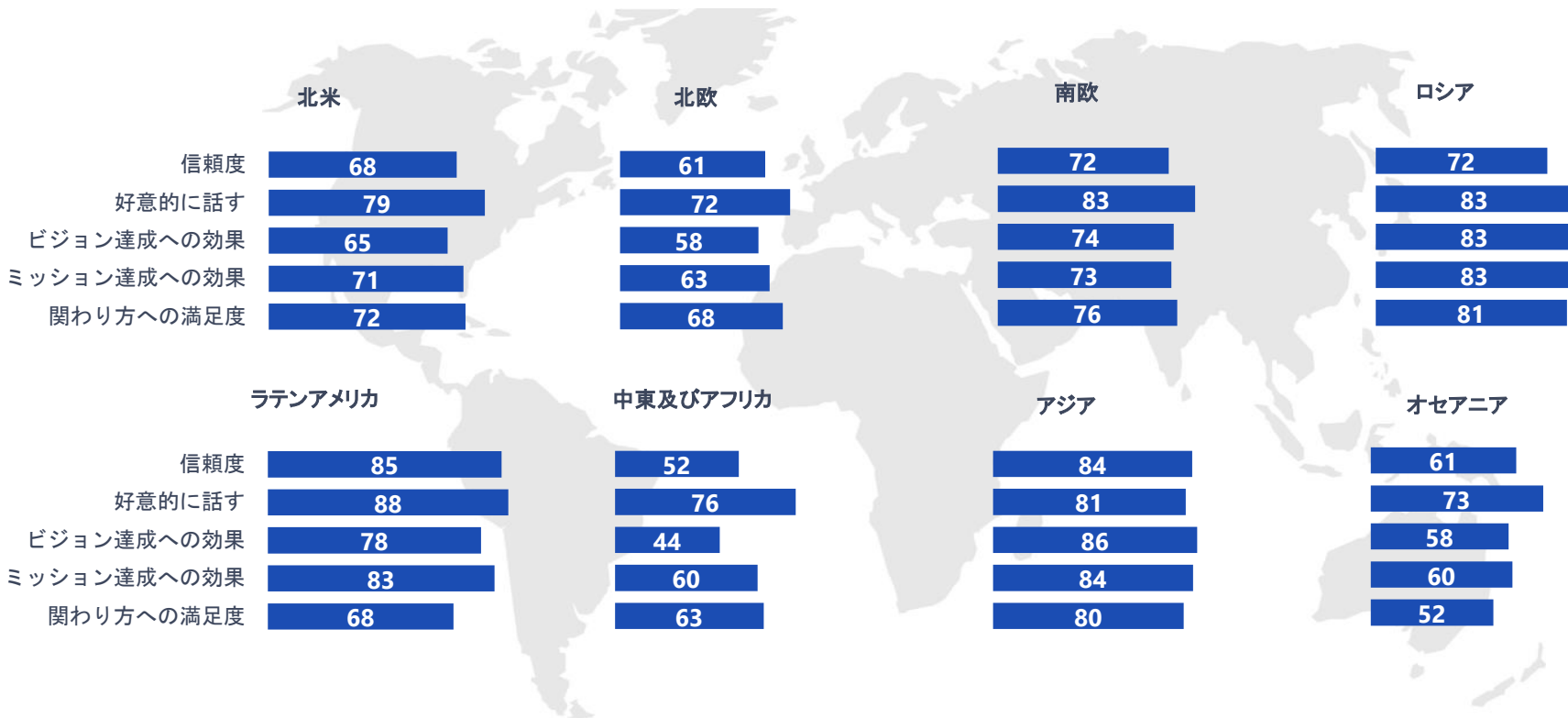
関わり方／コミュニケーションのレ
ベルに対する満足度



*評価のパーセンテージは、7点スケール上の上位 3点の評定 (5+6+7)に基づいています。

地域別のスナップショット*

世界全体	信頼度： 70%	好意的： 79%	ビジョン： 69%	ミッション： 72%	満足度： 71%
------	-------------	-------------	--------------	---------------	-------------



*スコアは7点スケールの上の上位 3点(5+6+7)に基づく

地域別のまとめ

北米

- 信頼度、好感度、MSCのビジョン・ミッション達成に向けた効果を含め、多くの分野において世界平均と合致していました。
- 北米のステーキホルダーは、気候変動、生物多様性、過剰漁獲を、最も緊急を要する3つの海洋問題と見なしています。

北欧

- 信頼度と主要なKPIのスコアは世界平均と比較して低い一方、海洋問題の緊急性についての懸念(過剰漁獲、生物多様性、気候変動)は高くなっています。
- ステーキホルダーは、海洋問題に関する政府へのキャンペーンや過剰漁獲に関する広報活動を含む提唱について、MSCに特に強い役割を求めています。

南欧

- 南欧では、漁業における奴隷労働と労働条件などの社会課題が緊急性の高い問題と見なされています。
- MSCに関するスコアは、好感度、ビジョン達成に向けた効果、関わり方への満足度において平均より高くなっています。
- ステーキホルダーは、北欧と同様に、海洋問題に関するさらなる提唱を求めています。

ロシア

- ほとんどのKPIIにおいて、スコアは平均より高く、特にMSCのかかわり方への満足度が高くなっています。
- 消費者の認知度とMSCの理解の向上が、広報活動における優先事項と見なされています。
- ロシアのステーキホルダーは、海洋汚染(海洋プラスチック汚染)が最も緊急を要する問題であると考えています。

ラテンアメリカ

- 信頼度は非常に高いものの、MSCIに対する親近感是他の市場よりも低くなっており、これは関わり方への満足度の低さに反映されています。
- ラテンアメリカの回答者は、社会課題の規格と共に、小規模漁業への支援をMSCのプログラムに期待しています。

中東及びアフリカ

- MSCへの親近感が高いものの(サンプルサイズは非常に小さいが)、信頼度とビジョン達成に向けた効果については地域別で最低となっています。
- 開発途上国における小規模漁業への支援が、MSCプログラムに望まれている重点分野です。

オセアニア

- 過剰漁獲、水産物の入手可能性、気候変動の影響が主な関心事項であるものの、主要なKPIのスコアが、世界平均よりもわずかに低いです。
- MSCエコラベルを使用したメカや小売によるさらなる広報活動が優先事項とされています。
- MSCは、事業者の調達方針の実践を支援する役割を持つ、独立した認証管理機関と見なされています。

アジア

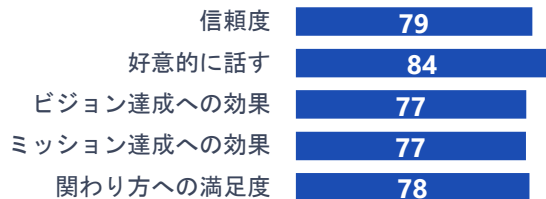
- アジアでは、MSCのブランド価値についての認識が低いものの、信頼度やその他のKPIIに対する高いスコアが、MSCIに対する強い支持を示しています。
- MSCの存在感を高めることが重要であると考えられます(中国や日本などの市場で)。
- 食の安心・安全が、MSCプログラムに対する関心分野の一つです。

ステークホルダー別のスナップショット*

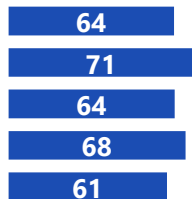
世界全体	信頼度： 70%	好感度： 79%	ビジョン： 69%	ミッション： 72%	満足度： 71%
------	-------------	-------------	--------------	---------------	-------------



小売/メーカー



漁業



加工業者



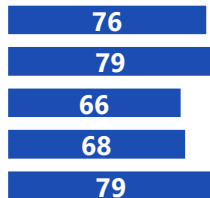
コンサルタント



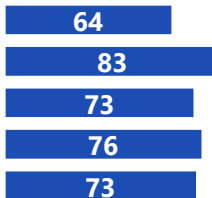
NGO



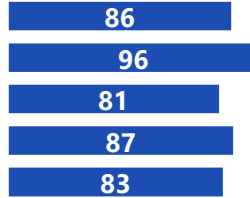
大学/研究機関



政府



審査機関



*スコアは7点スケールの上の上位 3点(5+6+7)に基づく

関係者の概要

小売／メーカー



- すべての主要KPIにおいて非常に高いスコアであり、このグループに対するMSCプログラムの長所を立証しています。
- 顧客の期待／持続可能性目標を満たす手助けをし、バランスの取れた対応を確実に行うことが非常に重要です。
- 消費者の認知を高め、提唱を強化することが、MSCの主な役割です。

漁業



- 結果は全体的には肯定的ですが、特に満足度について改善の余地があります。
- 認証にかかる費用が、さらなる関与を妨げるより一番の障壁となっています。
- 生計を守るためにMSCがどのような支援を行うのかを示すことが、信頼構築に向けた重点分野です。
- 持続可能性に向けた手順とプログラムの利点を漁業関係者に明確に示すことが重要です。

加工業者



- 主要なKPIのスコアは世界平均と同様ですが、一部の加工業者は、記述コメントにおいて極めて否定的なようでした。
- 信頼を高めるための重点分野として、生計を守るための支援、バランスの取れた視点を持つこと、気候変動に対する漁業の備えが含まれます。
- 関心のある分野として食品偽装があります。

コンサルタント



- すべてのKPIで平均を超えるスコアを得ており、MSCに対する親近感が非常に高くなっています。
- 認証プロセスの独立性とMSCとステークホルダーとの協力のあり方が強みとして挙げられています。

NGO



- 一部の批判に関わらず、漁業と海洋問題を改善するという共通目標があることから、NGOはMSCとの関与を望んでいます。79%が、MSCと協力することに何も問題がないとしています。
- 信頼度とビジョン達成への効果については低いスコアとなっています。
- 信頼を高めるための重点分野として、持続可能性に関する目標達成への支援、種／生態系の健全性の確保、気候変動に対する漁業の備えが含まれます。

大学／研究機関



- 信頼度と満足度のスコアは平均以上ですが、ミッション達成に向けたMSCの効果については平均未満です。
- 信頼構築に向けた重点分野として、気候、食糧安全保障、生計、種／生態系の健全性、意見に対するバランスの取れた対応が含まれます。
- MSCにおける科学調査の広報や、持続可能性に関する漁業の広報への支援が重要と見られています。

政府



- 信頼度については平均未満ですが、好感度とミッション／ビジョンに向けたMSCの効果は平均を超えます。
- 信頼を構築に向けた重点分野には、食糧安全保障、生計の保護、種や生態系の健全性の確保が含まれます。
- 独立した認証プロセスが強みとされています。
- 政府はMSCの提唱者としての役割を支持しています。

審査機関



- 信頼度を除くほとんどの主要KPIのスコアが平均を超えており、MSCに最も親近感があり、好意的に話す可能性が高くなっています。
- 認証の独立性とMSCのミッション／ビジョンについてのコミュニケーションが強みとして含まれる一方、意見に対するバランスの取れた対応が重点分野とされています。



MSCにおける機会と役割

MSCは、持続可能な水産物とは何か、海の健全性の評価はどうあるべきか、健全な海への貢献に向け水産物消費者が何かできるのかについて、声を上げるリーダーであるべきです。

- 小売/メーカー、北米

MSCは、認証のあり方を見直し続け、できるだけ多くの漁業が最も持続可能な方法で漁獲を行うことを確実にすべきです。

- NGO、北米

MSCは、認証を取得するための前提条件として、社会/労働規格を統合すべきです。MSCは、「持続可能性」について包括的な視点を持つべきです(もはや環境「のみ」ではなく)。

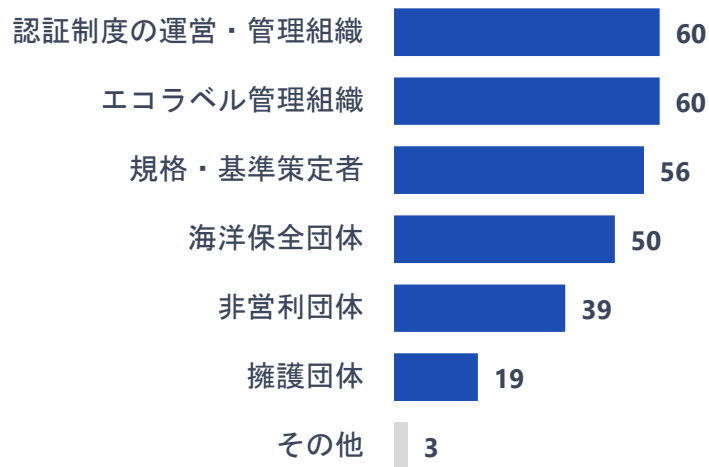
- 加工業者、南欧



10分の6のステークホルダーが、認証とエコラベルの組織ということMSCの役割として述べていますが、将来、MSCはさらに多くの役割を果たすことができると考えています。

現在のMSCの役割についての理解

多肢選択、世界全体、%



小売／メーカー(69%)と加工業者(59%)は、MSCを海洋保全団体として考える傾向が強いようです。

持続可能な水産物の今後に向けたMSCの役割

n=400 の世界全体の無作為回答の分析に基づく、自発的に記述された上位8つのテーマ

- 漁業の審査／保護／それらに説明を持つ
- ステークホルダーがより持続可能となり、持続可能性に関する目標を満たすことを支援する
- MSCの現在の規格／プロセスを強化する
- 持続可能性を支援する信頼のおけるリーダーとなる
- 持続可能性の基準を定義する／設定する
- 水産物の持続可能性について認知を高める
- 漁業がもっとアクセスしやすくなるプログラムを拡大する
- 持続可能性について提唱する

MSCが、海洋問題、協働、提唱、影響力の増大に関して、主導して声をあげるることについてさらなる役割を担うことをステークホルダーは期待しています。

ステークホルダーが、持続可能な水産物の今後に向けてMSCが役割を果たすことができると述べている3つの主要な分野

自発的な自由回答の総括

持続可能な漁業／水産物における主導的な組織

MSCは、持続可能な漁業／水産物におけるリーダーシップを強化できる可能性があります：

- 持続可能な漁業のための厳格な規格を維持、強化、規定する
- 組織が最良事例を採択し、持続可能性に関する目標を達成することへのさらなる支援を提供する
- プログラムをよりアクセスしやすく透明性の高いものにする

持続可能な水産物の提唱と認知の強化

MSCには以下の役割があります：

- 持続可能な水産物について、消費者の認知を高める
- 政府や業界に向けたより強固な漁業政策や基準のための提唱とロビー活動を行う
- 幅広い関係者と協働する
- MSCのプログラムと持続可能な漁業の便益について理解を広める

MSCとそのプログラムの規模、広がり、範囲の拡大

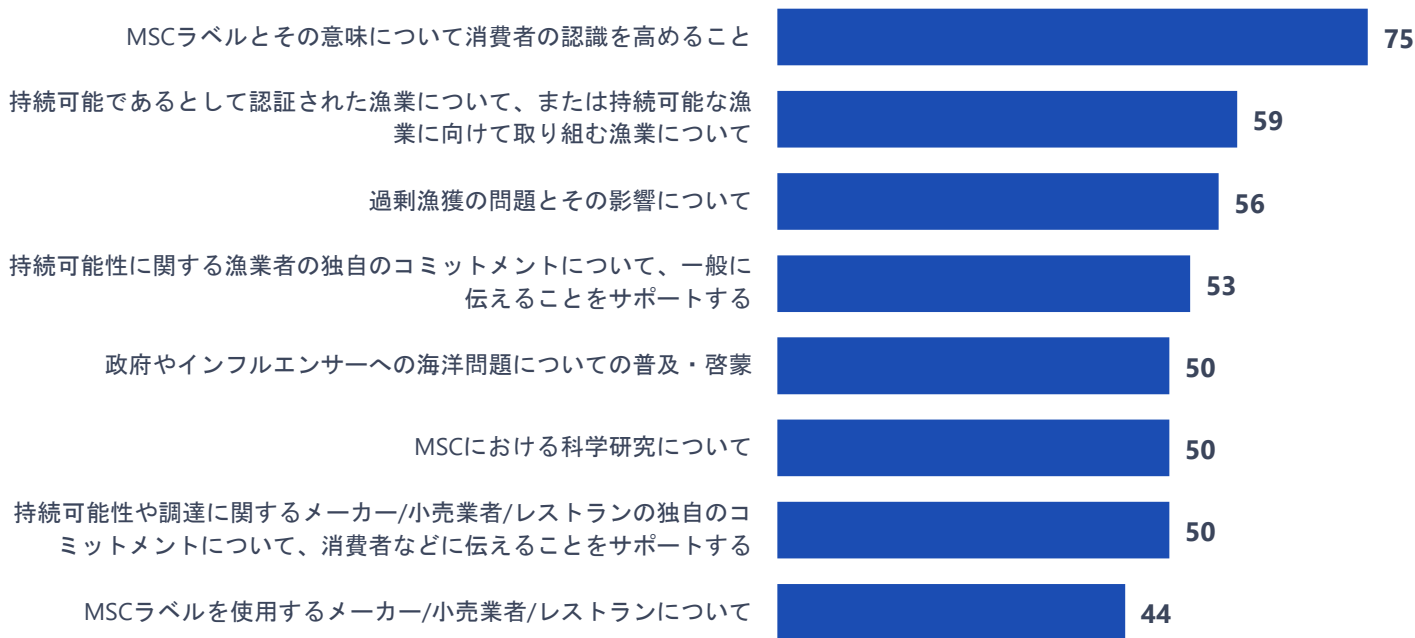
ステークホルダーは、MSCは以下の拡大機会があると考えています：

- さらに多くの市場でMSCの存在感を高める
- あらゆる規模のより多くの漁業が参加できるようプログラムを拡大する
- より多くの種を保護し、気候変動や社会経済および人権問題に対応するために、認証を超えた、幅広い領域のプログラムを構築する

ステークホルダーの4分の3が、消費者の認知と理解の向上をMSCが優先すべき活動であると考えています

MSCが優先すべき広報活動

多肢選択、世界全体、%



2022年のGlobeScan／MSCによるグローバル消費者意識調査によると、MSCラベルに対する消費者の認知度は着実に向上しており、全般的にみて48%に上昇しています。MSCについて認識している消費者のうち78%はラベルを信頼するとしています。

MSCのミッション達成に向けた障壁

過剰漁獲を 방지減らすことは、主に政府とその他の意思決定者にかかっています。MSCは、認証取得あるいは認証取得に取り組んでいる漁業の小集団のために、意思決定者に圧力をかけることができる1つのメカニズムです。

- NGO、北米

MSCはグローバルな漁業において大きな部分をカバーしています。要求事項は、顧客、消費者、政府が求める高いレベルであるとともに、漁業者が対応できるようバランスが求められます。MSCのラベルは価値と意味を有しています。

- 小売/メーカー、北欧



MSCが直面していると思われる最大の障壁には、過剰漁獲に取り組む政治的意志の欠如、持続可能な水産物に対する消費者の需要、MSCの将来の役割に関する相反する考えが含まれます。

MSCがミッション達成に向け直面している障壁として、3つの包括的なテーマが挙げられました。

自発的な、自由回答の概要

過剰漁獲を終結させるための政治的意志の欠如

これはアジアの一部と開発途上国で顕著でした。持続可能な漁業に向けた強い漁業規制(気候変動などの他の問題への対応とともに)の欠如と、継続する違法漁獲が、MSCが達成しようとしていることを妨げています。

厳格で科学的な規格と幅広い参加が求められることとの調整

業界関係者は、プログラムへの参加について、複雑さや費用が小さく、障壁が少ないものを望んでいます。市民組織のような別の関係者は、より多くの種に適用されるより厳格な規格を望んでいます。一部の漁業はMSCのプロセスを厳格には遵守していない可能性があり、こうした非遵守を確認するためのMSCのリソースには限界があると感じている関係者もいます。

持続可能な水産物に対する消費者の需要の欠如

一部の関係者は、消費者はMSCやMSCラベルについて認識しておらず、水産物の持続可能性に関心がなく、認証水産物により高い金額を支払うことを望まないと考えています。持続可能な水産物の需要を喚起し、MSCプログラムへの参加を奨励するためには、消費者の行動が必要です。

ステークホルダーは、MSCに対して高い期待を持っており、しばしば相反する要請をします。この難しい調整において、MSCは意思決定における透明性と良好なコミュニケーションによりステークホルダーの信頼を維持することが重要です。

ステークホルダーからの自由回答のテーマのまとめ

特に証拠に関する要求事項についての規格の強化、有効性について議論の余地のない証明が必要です。一部の漁業は到達できないとしても、最も強固で客観的に検証された規格を管理することで、一般的なイメージや普及活動を強化することができます。MSCはNGOコミュニティからのより継続的な支援を得ることができるでしょう。

- NGO、欧州

自由コメントの中で、一部の関係者はMSCについて相反する要望を持っており、厳格で科学的な規格でありつつ、MSCのプログラムへの幅広い参加を求めています。

- | | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">• より厳格な規格／プロセス• さらなる強化／説明責任• より厳格／科学的 | 対 | <ul style="list-style-type: none">• よりアクセスしやすい• より安い費用• 参加へのより少ない障壁• さらに幅広く利用可能な製品 |
|---|---|---|

規格をあまり難しくせず、漁業を持続可能にするこの意味に焦点を絞ってください。データ収集の厳密さについての新しい「いつもの得意な話題」によって、漁業が認証を取得できないようにすべきではありません。

- コンサルタント、欧州

小売業、メーカー、加工業、漁業、コンサルタントなどの多くの業界関係者が、MSCプログラムへの参加について、複雑さや費用が小さく、障壁が少ないものを望んでおり、また、プログラムの影響と規模の拡大を求めています。NGOを含む市民組織や一部の大学・研究機関は、より多くの種に適用できる、より厳格な規格を求める傾向があります。一部の漁業はMSCのプロセスを厳格には遵守していない可能性があり、こうした非遵守を確認するためのMSCのリソースには限界があると感じている関係者もいます。





MSC認証規格に関する緊急 を要する課題とフィードバック

MSCは、漁業が実施する意志がある場合、過剰漁獲を停止することができる包含的な規格を提供しています。

- 小売/メーカー、欧州

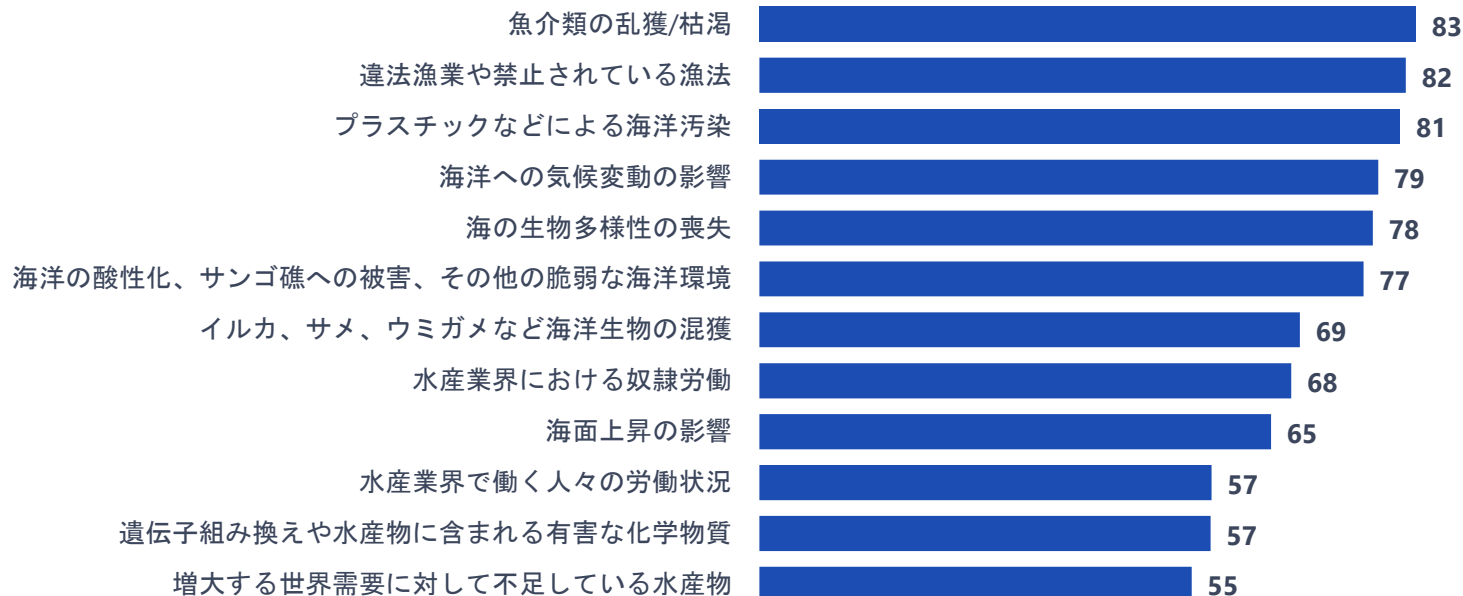
現在の規格は、レベルを十分に高く設定しておらず、非常に多くの例外や条件を許容しています。

- NGO、中東及びアフリカ

過剰漁獲は、最も緊急を要する海洋問題として認識されていますが、多くの相互に関連している問題が非常に緊急であるとステークホルダーは考えています。

海洋問題の緊急性

「極めて緊急」+「非常に緊急」、世界全体、%



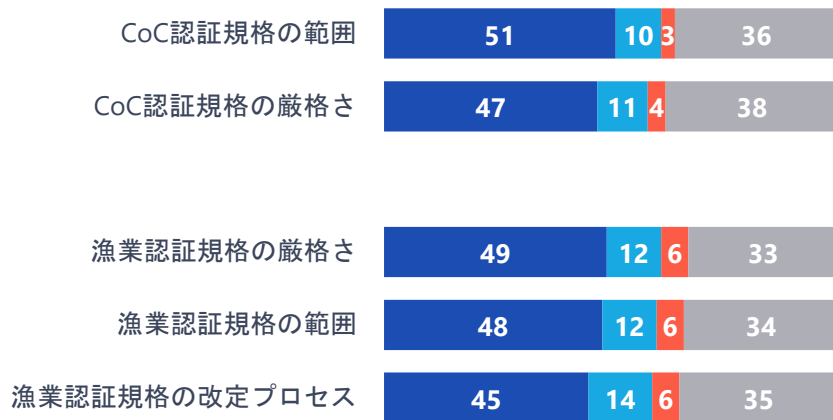
これまでに達成されたことが不十分であることを踏まえると、乱獲、気候、汚染、生態系保護など、海洋が直面している問題は、近年緊急性を増しています。
- NGO、オセアニア

ほぼ半数のステークホルダーがMSCの規格に満足しています。不満足は少数ですが、回答のための情報が不十分が多くなっています。費用と複雑さの低減の必要性についていくつかコメントがありました。

MSCの規格とプロセスに対する満足度

世界全体、%

■ 満足している ■ 満足でも不満足でもない ■ 不満足 ■ 情報不十分



MSC漁業認証規格の改定プロセスとCoC認証規格の両方を改善するための方法に関するステークホルダーからの提案:

- 費用と複雑さを低減する方法を探す
- 審査プロセスの時間枠を増やす
- 規格と審査プロセスの範囲を広げる(例:労働者の権利、食品安全性、魚種、漁法)
- プロセスについてさらなるサポートと研修を提供する
- 第三者によるデータ検証

追加のプログラム分野

MSCプログラムに追加して欲しい分野についての質問で、最も回答が多かったのは漁具の廃棄(ゴーストギア)の削減でした。

Q16. 次の質問は、MSCの漁業認証規格の改定プロセスとCoC認証規格についてです。これらMSCの取り組みについてご存知の方や、これら取り組みに関与いただいている方は、次の項目について、どの程度満足されていますか？

Q18. 今後、MSC認証プログラムに追加を希望する分野はありますか？

Q17. 漁業認証規格の改定プロセスおよびCoC認証規格に関する回答の理由を説明してください。



MSCの関わり方

MSC中国チームの努力に感謝しています。持続可能性についての価値を消費者に効果的にプロモートする方法を見つけるために、引き続き協力したいと思います。

- 政府、アジア

広報チームは、普及キャンペーンにおいて、素晴らしい取り組みをされています。また、StarkistのLinkedInで、MSCのスタッフを特集した素敵なビデオを見ました。10月にはインスタグラムで、多くのSNSの宣伝を見ました。

- 加工業者、北米

私は、ビジネス機会、進行中の審査、サステナブル・シーフード・ウィークの計画などについて、定期的にMSCチームと連絡を取っています。双方の関係のあり方は影響力が大きく、関連性が高く、友好的です。MSCへの大きな投資を支えるために、MSCとこの地域のサプライチェーンとの間での商業的関わりをさらに増やしてほしいと思います。

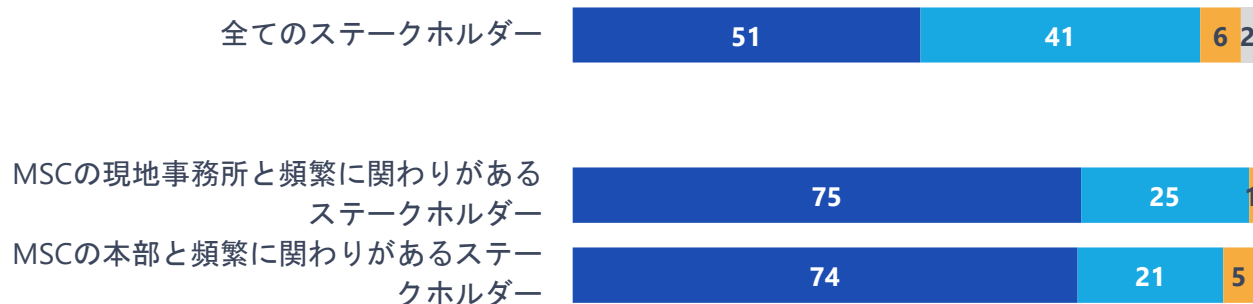
- 審査機関、オセアニア

MSCの現地事務所や本部と頻繁に関わりがあるステークホルダーの大半は、MSCの関わり方やコミュニケーションに満足しています

MSCとの関わり方についての満足度

世界全体、%

■ 満足している (6+7) ■ (3+4+5) ■ 不満足 (1+2) ■ 回答無し



ステークホルダーの35%がMSCの現地事務所と関わりがあり、15%がMSC本部と頻繁に(または非常に頻繁に)関わりがあります。

“ MSCのスタッフは知識が豊富で、友好的であり、活動的です。質問に対する回答がわからない場合も、答えを見つけ出します。
- 加工業者、北米

ベース: 世界全体、n=1,025。現地事務所と頻繁に関わりがある、n=346、MSC本部と頻繁に関わりがある、n=126
Q26. 直近12か月間における、MSCからの関与およびコミュニケーションのレベルについて、どの程度満足していますか？
大変不満であるを1、非常に満足であるを7とするスケールでご回答ください



主な調査結果のまとめ

主な調査結果のまとめ

- 全般的に、MSCは、ステークホルダー全体にわたる業績評価指標において良好な結果を示していますが、漁業者の満足度やNGOからの信頼に向けた改善など、一部のグループに向けたさらなる努力が求められます。
- MSCは主要な機能分野で強い成果（厳格な規格、十分に管理された漁業）あげていると見られており、引き続き改善に取り組む必要があります。
- MSCの規格に関する研修と情報提供さらに行っていく必要があります。
- MSCのミッション達成に向けた主な外部課題として、政治的意志の欠如と消費者の需要の欠如が挙げられます。
- 持続可能な水産物に対する消費者の認知を高めることが、MSCが広報活動において注力すべき事項です。
- 業界は、MSCプログラムの複雑さと費用を低減させ、参加への障壁を少なくすることを望んでいます。
- 市民組織や研究者は、より多くの漁業に適用される、より厳格な規格を望んでいます。また、規格の非適合に向けた監視に対するさらなる努力が必要とされています。
- 社会的課題へのさらなる取り組みや、他の組織の持続可能性に関する目標の達成への支援など、さらなる影響をもたらすことができるようMSCが成長していくことへの期待があります。
- MSCの関与やコミュニケーションについては、全体的に満足度が高く、関わり方に関する障壁は多くありません。



最新情報の入手について

MSCについての最新情報の入手

● MSC認証規格の改定に向けた支援

- MSCの公開協議プロセスを通じて、規格案に対するフィードバックや技術的アドバイスを提供する
- 最新情報を受け取るために MSCの規格改定メーリングリストに登録する

● 漁業の審査に関与する

- 審査プロセスを通じて情報を提供する
- すべての審査内容は公表され、Track a Fisheryをよりアクセスできます

● MSCのニュースレターのメーリングリストに登録する

- MSCのイベントや最新ニュースについて情報を入手する

● ソーシャルメディアでフォローする



ステークホルダーの関与とMSC漁業認証規格の改定

約200人の関係者が公開協議ワークショップに参加し、2020年から2022年にかけて行われた調査に対し、600を超える回答を受け取りました。

MSCの意見聴取の内容は：

- 12の調査 – 提案されたMSCの認証規格改定案についての公的レビューを含みます。
- 9のオンラインでのワークショップ
- MSCのオンラインイベントに、2020年から2022年にかけて、約1300名が参加しました。



MSC(海洋管理協議会)は、国際的な非営利組織です。MSCは、海を守り、将来にわたり水産物供給を守るための努力を推奨します。

将来の世代が、水産物そして海洋環境の恩恵を享受できることを望んでいます。

MSCのビジョンは、世界の海が生命にあふれ、現在そして将来の世代にわたり水産物の供給が守られることです。

MSCの使命は、MSCのエコラベルと認証制度を通じて、持続可能な漁業に向けた取り組みに報いるとともに、水産物購入に際しての消費者の選択に影響をもたらす、パートナーとともに水産物市場を持続可能なものへと転換することで、世界の海洋環境の保全に貢献することです。

www.msc.org

詳細情報については、ステークホルダー・エンゲージメント担当のNikki Wood (Nikki.Wood@msc.org)までご連絡ください



**Know your world.
Lead the future.**

GlobeScanは独立した、国際的見解と諮問コンサルタント会社です。

弊社は、主要な会社、NGO、政府機関と協力して、持続可能で公平な未来に貢献する意志決定と戦略構築に指針を与える見解をもたらします。

弊社は、30年を超えるデータ主導型の見識により、関係者または消費者を関与させるためにグローバルなネットワーク専門家と結びつけます。弊社のユニークなプログラムとグローバルな能力によって、何が新規であり、次は何であり、何が必要かを見極める手助けをします。弊社の諮問サービスは、知識を、スマートで、戦略的な決定に変える手助けをします。

1987年に創立した弊社は、ケープタウン、香港、ロンドン、ムンバイ、パリ、サンフランシスコと、サンパウロ、トロントに事務所を構えています。独立した従業員所有組織を誇りとする弊社は、弊社の顧客と社会の長期的成功に投資しています。GlobeScanは認定されたベネフィットコーポレーション(B Corp)であり、国連のグローバル・コンパクトの参加者です。

www.GlobeScan.com

詳細情報については、アソシエイト・ディレクターである、Abbie Curtis O' Reillyに、Abbie.Curtis@globescan.comまでご連絡ください